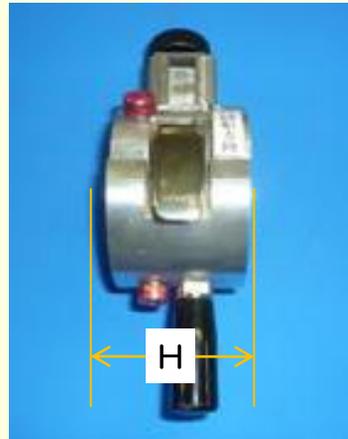
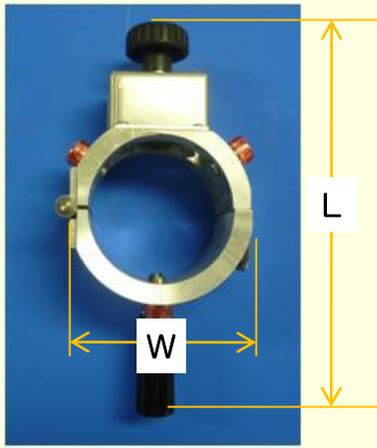


50mm可とう管輪切りカッター

概要

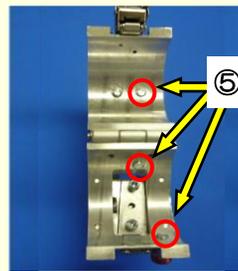
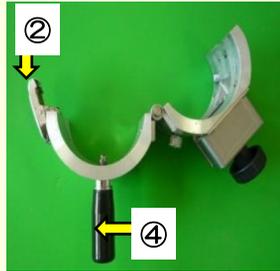
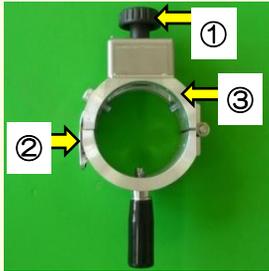
ケーブル収容の、50mm可とう管（FEP管）を輪切りに切断する作業を、50mmFEP管輪切り工具を装着して、ガイドボルトによりらせん上に回転させ、凸部分だけを切断します。刃先調整装置により、管内に刃先が入りません。また、ガイドボルトのタイプ（A、B）を変更することにより、らせん波形状の異なるFEP管に対応できます。

外観



寸法 : L186 × W93 × H55 (mm)
重量 : 530 (g)

【50mmFEP管輪切り工具の各部名称】



Aタイプ



Bタイプ

- ① 刃先調整装置
- ② 開閉器具
- ③ 管固定カバー
- ④ 握り手
- ⑤ ガイドボルト (A、Bタイプ用)

特長

- ◇ケーブル収容の、50mmFEP管輪切り作業が、誰でも短時間で簡単に作業できます。
- ◇らせん波形状の異なる50mmFEP管でも、ガイドボルトを交換することにより対応できます。
- ◇刃先調整装置により、管内に刃先が入らず安全に早く施工できます。
- ◇握り手部分は、折りたんでコンパクトに収容できることで、持ち運び等の取り扱いがし易いです。
- ◇切断刃は、市販されている物を使用している為、安価で簡単に取換えできます。

作業手順



ガイドボルト (Bタイプ)



ガイドボルト (Bタイプ) を使用

管固定カバーを開き、らせん波形状に合ったガイドボルトを取付ける



エフレックス

ガイドボルト (Bタイプ)

50mm FEP管の凹溝に、ガイドボルト (Bタイプ) が入るように、管固定カバーを取付ける



エフレックス

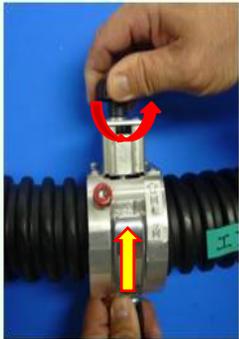
開閉器具

管固定カバーを閉め、開閉器具でFEP管を固定する。

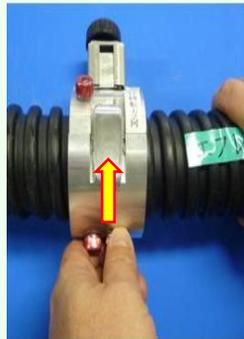


右に回すと刃先が下がる
左に回すと刃先が上がる

刃先調整器具の刃先をFEP管に当たるまで下げる。



FEP管を固定して、調整つまみを回して少しずつ刃先を下げるながら、握り手を持ち ↑ 矢印の方向にゆっくり回す。



握り手を持ち、↑ 矢印の方向に2回転ほど、ゆっくり回して切断する。



輪切り工具を取り外し、らせん状になった切断部。



らせん状になった切断部を、電工ハサミにて切断して完了。

【各FEP管に適用したガイドボルト】



ダイカレックス



ガイドボルト (Aタイプ)

らせん波形状が太いFEP管 (ダイカレックス)



エフレックス



ガイドボルト (Bタイプ)

らせん波形状が細いFEP管 (エフレックス) (タイレックス)

販売元：マルノ機販株式会社

電話：052-501-0670

FAX：052-503-9348



シーキューブ株式会社 技術開発部

電話：0568-44-0514

FAX：0568-44-3754